



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 341

Mai 2019

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

2019年度通常総会・会員懇親会のお知らせ

NPO法人神戸日独協会は、2019年度通常総会を下記の要領にて開催いたします。総会後には会員懇親会を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っております。総会と会員懇親会に、より多くの会員のご出席・ご参加を心よりお待ち申し上げます。

2019年度通常総会

日時：2019年5月18日(土) 16:00～17:00

会場：ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

(神戸市中央区元町通1-4-13 TEL 078-333-6868)

※ 会員の皆様には「総会資料」を本号とともにお届けいたします。

ご出・欠席のお返事は前号に同封のハガキにて5月15日(水)までお願いいたします。なお、会報をメールにて受信の方でご出・欠席のお返事及び委任状(正会員のみ)用のハガキをお受け取りでない方は、事務室へご一報ください。

会員懇親会

日時：2019年5月18日(土) 17:15～19:00

会場：ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

会費：4000円(会費は以下のいずれかの口座へお振込み下さい。

領収書は当日会場にてお渡しいたします)

三井住友銀行 神戸営業部 普通 8004770 特定非営利活動法人神戸日独協会

郵便振替 01160-9-18199

特定非営利活動法人神戸日独協会

申込：5月15日(水)まで事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

2019年度全国日独協会連合会総会報告

会長 枘田義一

今年度の総会は、2019年4月18日(木)から20日(土)まで今年新潟港開港150周年を迎えた新潟市の新潟市歴史博物館(みなとぴあ)にて開催されました。

今年は全国から23協会約60名の参加と、例年より参加者が少なく、特に西日本からの参加協会の欠席が目につきました。神戸日独協会からは枘田会長夫妻が出席しました。

19日の総会はクラウス・フィーツェドイツ大使館首席公使、前駐日大使のフォルカー・シュタンツェル独日協会連合会会長などの挨拶に引き続き、議事の審議が行われました。全国日独協会連合会の木村敬三会長代行の辞任と中根猛氏(前ドイツ大使)の就任、2018年度決算案、2019年度予算案などが審議・承認されました。2020年度総会は4月に東京にて開催されることも決まりました。

午後には、「新潟とドイツ～医学との関わりをめぐって」(大阪大学名誉教授神林恒道氏)、「古民家再生への取組」(建築デザイナー カール・ベンクス氏)、「新潟大学—Magdeburg 大学交流の影響力」(ボッシュ株式会社佐藤歩氏)の講演がありました。引き続き恒例の「各地日独協会活動報告」が行われました。審議・承認事項の詳細及び参加協会の報告概要は協会事務室にてご覧ください。

20日には、体調が不良であったため早々に新潟を離れましたので欠席しましたが、新潟開港150周年を記念しての「ドイツ領事館跡地記念碑」の除幕式がありました。

ドイツ語講座・ドイツ文化教室 2019 年度第 I 期開講中

4月8日より「ドイツ語講座・ドイツ文化教室 2019年度第 I 期」が開講しました。

5月より新しい「令和」の時代が始まりました。新時代の開始とともに、ドイツ語へのチャレンジ、再挑戦、ブラッシュ・アップをはじめませんか。講座内容については、協会事務室にお尋ねください。ご参加をお待ちしています。

実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は第3ではなく第4日曜日の5月19日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

ドイツ語談話室

第185回ドイツ語談話室

日時：2019年4月20日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：銀行取引で出くわした経験

今回の司会は合田ドロテアさんが担当され、まず、自身の銀行でのトラブルについて話された。ドイツからの年金振り込みの手続きのため、三菱UFJ銀行にある自分の口座番号の確認書類を提出したが、単なる口座の確認のためだけに2時間以上待たされ、挙句に、手数料として数千円を請求された、との事。以下に、参加者の皆さんの銀行にまつわる話の一部を下記する。

—銀行系列の証券会社から、遺産関係で、電話での取引を紹介され、良く説明も受けないうちに担当者が証券の売却を済ませてしまった。後でクレームを申し入れたが、電話取引は要注意だ。

—1980年代にドイツに住んでいた頃、当時ドイツに進出していた日本の銀行で口座を開いた折、詳細は覚えていないが、手続きに大変苦勞をしたのを思い出す。

—時間外等でATMを利用すると108円の手数料を取られるが、一方で、100円の利息のためには、莫大な金が要るのは実に矛盾した話だ。

—今どきは、ほとんどの銀行取引がATMで出来るので、銀行での直接の取引はほとんどない。

(他にも、ATMでほとんど間に合うので、銀行との直接やり取りがない方が多くある。)

—ある団体の、銀行口座の代表者名を変更するだけなのに、とてつもない面倒な手続きをさせられて閉口した経験がある。

—20年以上前の話だが、フランスのある小都市でお昼の時間に銀行に行ったところ、昼休みで閉まっていた。日本ではありえない事だったので驚いた。ヨーロッパ諸国では当たり前の事の様だ。

—日本の銀行はまだ導入していないが、欧米では、口座を持っているだけで、口座維持管理料を取られるのが普通である。

—今はほとんどATMで用を済ませているが、将来ボケて、ATMが使えなくなったらどうしようと心配になる。

—昔ドイツにいた時、銀行口座を持っていた。帰国してからも、少し残高があったので、将来またドイツに行くことを考えて口座をそのままにしていた所、口座管理料を取られて無くなってしまった。

—日本では、銀行の合併が何度もあり、そのたびに銀行名が次々と変わって、いまや元の銀行名が判らなくなっている。

—日本ではほとんど見られない2000円札が、スペインでは多く出回っているようだ。先日スペインから来たツーリストたちが、2000円札をたくさん持っていた。

—昔銀行で買えたトラベラーズチェックは、今は買えなくなっている。ヨーロッパでは、ユーロ導入後、トラベラーズチェックの需要が無くなった。

今後のドイツ語談話室の予定

第186回 2019年5月18日(土) 14:00-15:30 テーマ : 麗しき5月

(次回、5月18日は、神戸日独協会の総会が16時からあるので、30分早く終わります)

第187回 2019年6月15日(土) 14-16時 テーマ : 私のお気に入りの美術館

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 185. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 20. April 2019, 14 bis 16 Uhr

Thema: Erfahrungen mit Banken

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und erzählte zuerst von schlechten Erfahrungen mit einer Bank. Neulich besuchte sie die Bank of Tokyo Mitsubishi UFJ und bat um eine Bestätigung ihrer Bankkontonummer. Diese ist für die Überweisung ihrer Rente von Deutschland nach Japan notwendig. Für die Ausstellung dieser Bestätigung musste sie mehr als 2 Stunden warten und überdies noch mehr als 2000 Yen Gebühren bezahlen.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Eine Teilnehmerin berichtete von einer schlechten Erfahrung mit der Effektenabteilung ihrer Bank in Zusammenhang mit einem Erbe. Eine Bankangestellte vermittelte ihr telefonisch einen Wertpapierhandel und, noch bevor sie den Kaufprozess verstanden hatte, war der Handel bereits abgeschlossen. Sie musste eine Reklamation einbringen. Besonders bei telefonischen Abmachungen muss man sehr sehr vorsichtig sein.

-Ein Teilnehmer wohnte in den 1980er Jahren in Deutschland und eröffnete dort ein Konto bei einer japanischen Bank mit Niederlassungen in Deutschland. Er erinnert sich nicht mehr an alle Details, weiß aber noch, dass es große Mühen bereitete, die nötigen Schritte dafür auszuführen.

-Ein Teilnehmer findet es empörend, dass man bei der Benutzung von Bankautomaten außerhalb der Geschäftsstunden 108 Yen Gebühr bezahlen muss. Das steht in keinem Verhältnis zu den Zinsen. Um 100 Yen Zinsen zu erhalten, muss man zehn Millionen Yen auf dem Konto haben.

-Ein Teilnehmer erwähnt, dass er heute fast alle Bankgeschäfte mit dem Bankautomaten machen kann und deshalb nur mehr selten eine Bank besucht.

Dies gilt auch für die meisten anderen Teilnehmerinnen und Teilnehmer.

-Eine Teilnehmerin musste einmal den Namen des Hauptvertreters eines Gesellschaftskontos ändern. Es war eine unglaublich komplizierte Prozedur, sie verließ

die Bank ganz verwirrt.

- Vor mehr als 20 Jahren ging ein Teilnehmer in einer kleinen Stadt in Frankreich gegen Mittag zu einer Bank und fand sie wegen Mittagspause geschlossen. Er fand es eigenartig, dass Banken „Mittagspausen“ machen, in Europa war das aber offensichtlich so üblich.

-Ein Teilnehmer berichtete, dass Banken in Europa und Amerika Kontoführungsgebühren verlangen.

-Eine Teilnehmerin, die jetzt bei Bankgeschäften auch hauptsächlich Bankautomaten benützt, fragt sich, was wohl wird, wenn sie im höheren Alter solche Apparate nicht mehr bedienen kann.

-Eine andere Teilnehmerin hatte in Deutschland ein Bankkonto. Nach ihrer Rückkehr nach Japan war noch etwas Geld auf dem Konto, das sie für den nächsten Aufenthalt in Deutschland dort gelassen hatte. In der Zwischenzeit wurden jedoch Kontoführungsgebühren abgezogen, sodass das Konto dann leer war.

-Eine Teilnehmerin erwähnte, dass die meisten japanischen Banken aus Zusammenlegungen kleinerer Banken entstanden waren, und dabei stets den Namen änderten. Die ursprünglichen Namen hat man kaum mehr noch im Gedächtnis.

-Eine Teilnehmerin berichtete von dem komischen Phänomen, dass neulich Touristen aus Spanien mit 2000 Yen- Scheinen nach Japan kamen. In Japan selbst kann man solche kaum mehr bekommen.

-Ein Teilnehmer sprach davon, dass man Reiseschecks heutzutage nicht mehr verwenden kann. Nach der Einführung des EURO gab es in Europa keinen Bedarf mehr dafür.

Nächste Treffen:

Samstag 18. Mai 2019, 14:00 – 15:30 Uhr, Thema: Der schöne Monat Mai

(wegen der Generalversammlung der JDG Kobe, endet die Gesprächsrunde 30 min. früher)

Samstag 15. Juni 2019, 14 bis 16 Uhr, Thema: Mein Lieblingsmuseum.

事務室からのお知らせ

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は6月13日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
5月18日(土) 14:00~	第186回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
5月18日(土) 16~19:00	2019年度通常総会 会員懇親会	ユーハイム神戸 元町本店ホール	5月15日(水)
5月19日(日) 15:00~	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可